



前会長 故中村 健 先生を偲んで

昨年度まで八王子市私立幼稚園協会の会長を3期6年にわたり務められた故中村健先生(なかの幼稚園前理事長)が、本年4月10日に永眠されました。在任期間中には、東京都私立幼稚園連合会教育研究委員として、八王子市はもとより都内の幼稚園や認定こども園の教員に対し幼児教育の素晴らしさを広めてこられました。常に子どもの立場に立って教育を語る姿に影響を受けた教員も多いことでしょう。在りし日を偲び、ご冥福をお祈りいたします。



略歴

昭和51年

なかの幼稚園に職員として就職、その後に二部の養成校に通い、当時白梅学園大学教授久保田浩氏に出会う。養成校を卒業後、なかの幼稚園で教諭として勤め、同時に久保田浩氏とその仲間が主催している「保育者と子どもの未来を語る会」に職員を連れて参加、平成16年よりこの会の実行委員長を務める。

平成2年

東京都私立幼稚園連合会の研究委員に就任。

平成12年～

保育の内容や幼児教育の有るべき姿を求める、行政より要請があり「保幼小連絡協議会」「保育従事者研修」等で役員、会長等を務める。

平成15年

八王子中村学園理事長に就任後、八王子市私立幼稚園協会役員に推薦され副会長に就任。

平成27年

八王子市私立幼稚園協会会長に就任と同時に東京都私立幼稚園連合会理事・地区長に就任。

平成29年

東京都より教育功労賞を授与。

令和2年

全日本私立幼稚園連合会より永年勤続表彰。

その他

地域の3校の小学校と1校の中学校で学校運営委員、学校評議会等の役員を兼任。

八王子市私立幼稚園協会について

八王子市私立幼稚園協会には30の私立幼稚園、認定こども園が加盟し、各園が特色ある幼児教育を行っております。協会では、各園がその教育内容に応じて質の向上を図ることができるよう、様々な研修を行っております。また、保護者の負担軽減や子育て支援、教育環境の充実などを図るため、八王子市への要望活動や、教職員の健康をサポートする活動にも取り組んでおります。こうした協会の取り組みや幼児教育の現状については、これまで八王子市私立幼稚園PTA連合会などを通してお伝えしてきましたが、コロナ禍による活動制限のため、八私幼だよりでご紹介させていただきます。今後もお子様の健やかな成長のため、保護者の皆様と手を携えて歩んで参りたいと考えております。

会長 内野 彰裕

八王子市長へ要望書提出



(令和2年度提出の様子)

昨年も、石森八王子市長へ八王子市私立幼稚園協会から要望書を届けさせていただきました。その際、各園のコロナ禍での対応や保育・教育環境の現状等をお話させていただきました。熱心に聞き入れていただきました。今年度もコロナ感染対策や防犯対策強化、保護者負担の軽減、子育て支援の充実等の要望をまとめて、提出させていただきます。予定です。

萩生田前文部科学大臣との会合 ～幼稚園と小学校の円滑な接続に向けて～

令和3年8月28日、八私幼の正副役員(内野会長、串田副会長、浦野副会長、鈴木副会長)、友松先生(公社)東京都私立幼稚園協会研修会理事長)と共に、萩生田光一前文部科学大臣と懇談会を開催しました。懇談会は、現在、国で進められている「幼児教育スタートプラン」など、幼児教育に関する内容について、1時間に渡って行われました。冒頭、内野会長より、前会長であられた故中村先生の報告をされると共に、八王子市の幼児教育の現状についてのお話がされました。その後、萩生田大臣よりご挨拶を頂くと共に、前掲の項目についてお話を頂きました。懇談の中において、友松先生より園児たちが実際に描いている絵などをご覧頂き、現場で行われている保育教育活動についてご説明されると、大臣からは現場の声を聞かせて頂くことへの感謝と、さらには、現場の声を大切にしながら文科省において取り組んでいくとの言葉を頂きました。また、5歳児の教育については、国において幼児教育スタートプランを進め、幼稚園から小学校へ上がる際にスムーズな連携が出来る体制を目指しているが、小学校教育の前倒しと言うことではなく、幼児期特有の学びの姿を大切にしながら、政策の実現を目指しているとの回答を頂きました。今回の懇談会では、萩生田大臣へ直接、意見を述べて参りましたが、引き続き、幼稚園協会として、子どもたちの成長を守り育てると共に、保護者の皆様が安心して頂ける環境整備に向けて取り組んで参ります。

